

平成23年度  
水道局予算要求方針

【目次】

|   |                           |   |
|---|---------------------------|---|
| 1 | 平成23年度水道局予算要求総括表及び経営方針・・・ | 1 |
| 2 | 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・ | 4 |
| 3 | 事務事業の見直し等（主なもの）・・・・・・・・・・ | 6 |

# 1 平成23年度水道局予算要求総括表及び経営方針

## (1) 平成23年度水道局予算要求総括表

### 【上水道事業会計】

#### 〈水道事業〉

|             |                 |
|-------------|-----------------|
| 平成23年度要求総額  | 30,362,880千円    |
| (平成22年度予算額) | 29,636,190千円)   |
| 前年度比        | 726,690千円(2.5%) |

要求総額は、老朽施設の更新や危機管理対策などの整備事業費の増により、前年度比 7.2 億円 (2.5%) の増を見込み、この財源に累積資金剰余を 1.7 億円程度活用する一方、収益的収支は 5 億円程度の黒字を確保し、積極的な事業展開と健全経営の維持を両立していきます。

#### 〈水道用水供給事業〉

|             |                |
|-------------|----------------|
| 平成23年度要求総額  | 698,210千円      |
| (平成22年度予算額) | 646,910千円)     |
| 前年度比        | 51,300千円(7.9%) |

事業開始初年度は、収益的収支で 2.6 億円程度、単年度資金収支で 0.4 億円程度の赤字が見込まれるものの、給水対象が 2 都市増え、給水量が日量 1.3 万 m<sup>3</sup> から 2 万 m<sup>3</sup> に増加する平成 28 年度を目途に、単年度の収益的収支・資金収支ともに黒字化し、経営の健全化を図ります。

### 【工業用水道事業会計】

|             |                    |
|-------------|--------------------|
| 平成23年度要求総額  | 2,657,550千円        |
| (平成22年度予算額) | 3,076,300千円)       |
| 前年度比        | △418,750千円(△13.6%) |

要求総額は、長期借入金償還金の減により、会計規模上、前年度比 4.1 億円の減 (△13.6%) となるものの、実質の事業規模は前年度並みを確保した上で、収益的収支で 2.1 億円程度、単年度資金収支についても 0.1 億円程度の黒字を確保するなど、引き続き健全経営を維持していきます。

## (2) 平成23年度水道局経営方針

料金収入の減少傾向が続くなど、厳しい経営状況が見込まれるなか、本年2月に策定した「中期(後期)経営計画」(H23~H27)に基づき、安心しておいしく飲める水を安定して供給するとともに、新たな収入増対策や徹底した経費削減に取り組み、将来を見据えた経営基盤の強化に努め、健全財政を維持しつつ、持続可能な水道事業の構築を目指します。

### 1) 北九州水道100周年記念事業の実施

平成23年度が本市水道開設100周年に当たることから、記念事業等を通じて、お客さまに水道の果たす役割や重要性について理解を深めていただき、水道事業のさらなる発展につなげます。

#### ■ “北九州水道ウィーク”の開催(10/24~10/28)\*<sup>1</sup>

- 100周年記念式典(10/25)、国際シンポジウム(10/26)
- 日本水道協会第80回全国総会(10/26~10/28)
  - ・ 西日本総合展示場を中心に全国から延べ1万人以上が参加

#### ■ “記念モニュメント”(ウォーターハウス)の設置(8月)\*<sup>2</sup>

- ・ ウォーターハウス(グリーンパーク)の建設に合わせ、「水と緑とエコロジー」をキーワードに、クールミストや水の動きを楽しめる記念モニュメントを設置

#### ■ “水道展示コーナー”(水環境館)の開設(9月)\*<sup>2</sup>

- ・ 水環境館のリニューアルに合わせ、クイズ形式で水循環や水道の仕事について学習できるITを活用した水道展示コーナーを開設

\*1は(財)上下水道協会、\*2は建設局・(財)上下水道協会との合同事業

### 2) “おいしい水”作戦の展開

さらにおいしく安全な水をお届けできるよう、水源から蛇口までの全過程を通じて、水質の向上に取り組みます。

#### ■ 遠賀川の水質改善対策

- ・ 水質汚濁負荷原因の調査とその対策の検討

#### ■ 残留塩素低減化対策

- ・ 浄水場での塩素注入削減や配水池などでの追加塩素方式を組み合わせた残留塩素の低減化の方策を検討

### 3)海外水ビジネスの着実な推進

水道事業体で全国初となる「カンボジア・シェムリアップ市の浄水場建設基本設計補完事業」の受注に続く、具体的なビジネス案件の形成に向け、“海外水ビジネス推進協議会”を中心に公民連携の取り組みを着実に推進します。

#### ■ ミッション団の派遣

- ・ ベトナム・ハイフォン市、カンボジア、中国・大連市等でビジネス展開

### 4)広域水行政の新展開

周辺自治体や県等関係機関と検討会議を立ち上げるなど、新たな広域連携のあり方について、積極的に検討・協議を進めます。

#### ■ 水道用水供給事業の開始

- ・ 平成 23 年度から宗像市など 3 市 1 町へ水道用水を供給する水道用水供給事業を開始。平成 23 年度は宗像市と新宮町に供給

### 5)低炭素化社会への貢献

“環境負荷の極端に少ない水道”（CO<sub>2</sub> 排出量がペットボトルの 1/1,300）をPRするとともに、エネルギー消費の少ない事業運営を進め、低炭素化社会の実現に向け積極的な貢献を続けます。

#### ■ “水道でエコ” キャンペーンの展開

- ・ 市民の水道事業に対する理解と需要の喚起に向け、水道の持つ環境特性を市民に広く訴求するとともに、壁面緑化等の具体的な取り組みを提案

### 6)安定給水への積極的対応

自然災害や漏水事故を未然に防ぐ対策として、経年劣化した水道施設の更新や耐震化を実施するとともに、これらが発生した場合でも安定した給水体制を確保するため、バックアップ機能の強化などに取り組みます。

#### ■ 老朽管等更新、震災対策整備、バックアップ機能強化等の推進

- ・ 小森江系送水管の 2 条化、新若戸道路水道連絡管整備事業など

### 7)水道施設再構築プランの策定

広域連携を含めた将来の水需要に見合う施設規模に見直すため、需要・供給の両側面から検討を進め、水道施設再構築プランを策定します。

#### ■ 「水道施設再構築検討委員会」（仮称）の設置

- ・ 過大となっている供給能力の抜本的な見直しに向けて、水道施設の専門家など有識者等で構成する外部委員会を設置

## 2 重点的に取り組みを行う主なもの

### (1) お客さまが安心しておいしく飲める水道

さらに安全でおいしい水をお届けできるよう、水質の向上に取り組みます。

|        |  |          |
|--------|--|----------|
| Ⅲ-1・新規 | ■遠賀川の水質改善対策                                | 7,000 千円 |
|        | 主要水源である遠賀川の水質改善に向け、水質汚濁負荷原因の調査とその対策を検討します。 |          |

|        |  |           |
|--------|--|-----------|
| Ⅲ-1・新規 | ■残留塩素低減化対策   | 15,000 千円 |
|        | 浄水場での塩素注入削減や配水池などでの追加塩素方式を組み合わせた残留塩素の低減化の方策を検討します。 |           |

### (2) いつでも安定して供給できる水道

自然災害や漏水事故を未然に防ぐ対策として、経年劣化した水道施設の更新や耐震化を実施するとともに、これらが発生した場合でも安定した給水体制を確保するため、バックアップ機能の強化などに取り組みます。

|        |   |              |
|--------|---|--------------|
| Ⅲ-1・継続 | ■老朽管更新事業                                      | 3,659,300 千円 |
|        | 経年劣化が進んでいる配水管・導送水管を計画的に更新するとともに、重要な管路を耐震化します。 |              |
|        | ・ 配水管更新 L=50km                                | 3,000,000 千円 |
|        | ・ 導送水管更新 L=3.2km                              | 659,300 千円   |

|        |   |            |
|--------|---|------------|
| Ⅲ-1・継続 | ■震災対策整備事業   | 317,392 千円 |
|        | 浄水施設などの基幹水道施設の耐震診断を実施するとともに、配水池等の耐震化工事を実施します。また、震災時の応急給水拠点の整備も進めます。 |            |

|        |   |            |
|--------|---|------------|
| Ⅲ-1・拡充 | ■新若戸道路水道連絡管整備事業   | 313,732 千円 |
|        | (うち拡充分 113,732 千円)  |            |
|        | 新若戸道路整備に併せて水道連絡管を整備し、主要送水システムのループ化による基幹浄水場間のネットワークを強化します。 |            |
|        | ・ 送水管 L=1,283m  |            |

|        |  |            |
|--------|--|------------|
| Ⅲ-1・新規 | ■バックアップ機能の強化対策                           | 389,000 千円 |
|        | 単一の送水系統で供給されている地区などの送水管を2条化し、自然災害等に備えます。 |            |
|        | ・ 小森江系送水管 L=1,000m                       | 239,000 千円 |
|        | ・ 堀越ポンプ場内送水管等 L=147m                     | 150,000 千円 |

|        |  |           |
|--------|--|-----------|
| Ⅲ-1・新規 | ■水道施設再構築プランの策定   | 15,000 千円 |
|        | 広域を含めた将来の水需要に見合う施設規模に見直すため、「(仮称)水道施設再構築検討委員会」を設置し、検討を進めます。 |           |
|        | ・ 長期水需要予測業務委託  |           |
|        | ・ 浄水場施設カルテ作成業務委託   |           |

### (3)北九州水道100周年記念事業

|        |                 |                              |
|--------|-----------------|------------------------------|
| Ⅲ-1・拡充 | ■北九州水道100周年記念事業 | 55,667千円<br>(うち拡充分 49,167千円) |
|--------|-----------------|------------------------------|

～これからもずっと、水が使える安心を～

平成23年度が本市水道開設100周年に当たることから、記念事業等を通じて、お客さまに水道の果たす役割や重要性について理解を深めていただき、水道事業のさらなる発展につなげます。

- ・北九州水道ウィークの開催（記念式典・日本水道協会第80回総会等）
  - ・記念モニュメント（ウォーターハウス）の設置
  - ・水道展示コーナー（水環境館）の開設
- など

### (4)環境モデル都市を推進する水道

低炭素社会の実現のため、エネルギー消費や環境負荷の少ない事業運営を目指します。

|        |                   |         |
|--------|-------------------|---------|
| V-2・新規 | ■“水道でエコ”キャンペーンの展開 | 6,600千円 |
|--------|-------------------|---------|

“環境負荷の少ない水道”をPRするとともに、水道を使ったエコへの具体的な取り組みを提案・推進します。

- ・市民農園の開設、壁面緑化の推進、クールミストの普及促進

|        |              |          |
|--------|--------------|----------|
| V-2・継続 | ■太陽光発電設備設置事業 | 20,000千円 |
|--------|--------------|----------|

配水池などの水道関連施設に太陽光発電設備を設置し、再生エネルギーの活用によりCO2を削減します。

- ・永犬丸・丸山配水池 2箇所

|        |               |          |
|--------|---------------|----------|
| V-2・継続 | ■省エネルギー対策整備事業 | 30,000千円 |
|--------|---------------|----------|

送水ポンプを適正規模に更新することや配水ブロックの改善により、エネルギーロスを減らし消費電力を削減します。

- ・送水ポンプ更新 設計 5,000千円
- ・配水ブロック改善 設計・工事 25,000千円

### (5)世界・地域に貢献する水道

|          |           |           |
|----------|-----------|-----------|
| VII-3・継続 | ■水道用水供給事業 | 698,210千円 |
|----------|-----------|-----------|

平成23年度から、宗像市など3市1町へ水道用水を供給する水道用水供給事業を開始します。平成23年度は宗像市と新宮町に供給します。

|          |           |         |
|----------|-----------|---------|
| VII-3・新規 | ■水道事業の広域化 | 2,781千円 |
|----------|-----------|---------|

新たな広域連携を推進するため、周辺自治体など関係機関と検討を進めます。

|          |          |                              |
|----------|----------|------------------------------|
| VII-3・拡充 | ■海外事業の展開 | 26,305千円<br>(うち拡充分 18,245千円) |
|----------|----------|------------------------------|

ベトナム・ハイフォン市、カンボジア、中国・大連市等において、技術協力・人材育成に貢献するとともに、ミッション団を派遣し海外水ビジネスの具体的な案件形成に向けた取り組みを着実に推進します。

また、本市がこれまで培ってきた環境技術を活用して、カンボジア・プノンペン市の水道事業から排出されるCO2を削減します。

### 3 事務事業の見直し等（主なもの）

#### （１）行政評価による見直し

##### ■ 水道技術の国際貢献

緑の成長戦略の一つである「海外水ビジネス」を進展させることで、国際貢献とともに地域経済の活性化にも寄与していきます。

具体的には、国際技術交流で築いてきた人的ネットワークと、地元企業の持つ優秀な技術力などを組み合わせ、“海外水ビジネス推進協議会”を中心に、ビジネス案件の形成を図り、海外水ビジネスを着実に推進します。

#### （２）その他の見直し

##### ■ 水道用地の有効活用

新たな視点で遊休地の洗い出しを進め、駐車場の拡大により、収入増対策を推進します。

##### ■ 広告事業の拡充

水道用地等を広告媒体として活用し、民間企業等の広告を掲載することで、新たな収入の確保に取り組みます。

##### ■ 漏水調査の強化

効率的・計画的な漏水調査を行うとともに、漏水調査の契約条件に一定の成果主義を導入することで、有収率の向上（漏水量削減）を図ります。

##### ■ 自然エネルギーの活用

配水池に太陽光発電設備を設置することで、配水池の必要電力を賄うとともに、余剰電力の売電収入で設備投資を回収します。